

集落復興支援事業

in 南会津郡下郷町

1年 鈴木海渡、内川裕稀、高谷優希、塩野奨太

3年 菊池真純、根本沙希、湯田陽香、吉田悦子

目次

1. 下郷町の概要
2. 地域資源の紹介
3. 現状
4. 課題
5. 提案



南会津下郷町の概要

【概要】

下郷町は、福島県会津地方の南部に位置している。

周囲は那須山系などの山々に囲まれ、町のほぼ中央を南西から北東に阿賀川（大川）が貫流し、国指定天然記念物「塔のへつり」に代表される雄大な渓谷が形成されている。面積の約87%は森林に覆われる緑豊かな町。

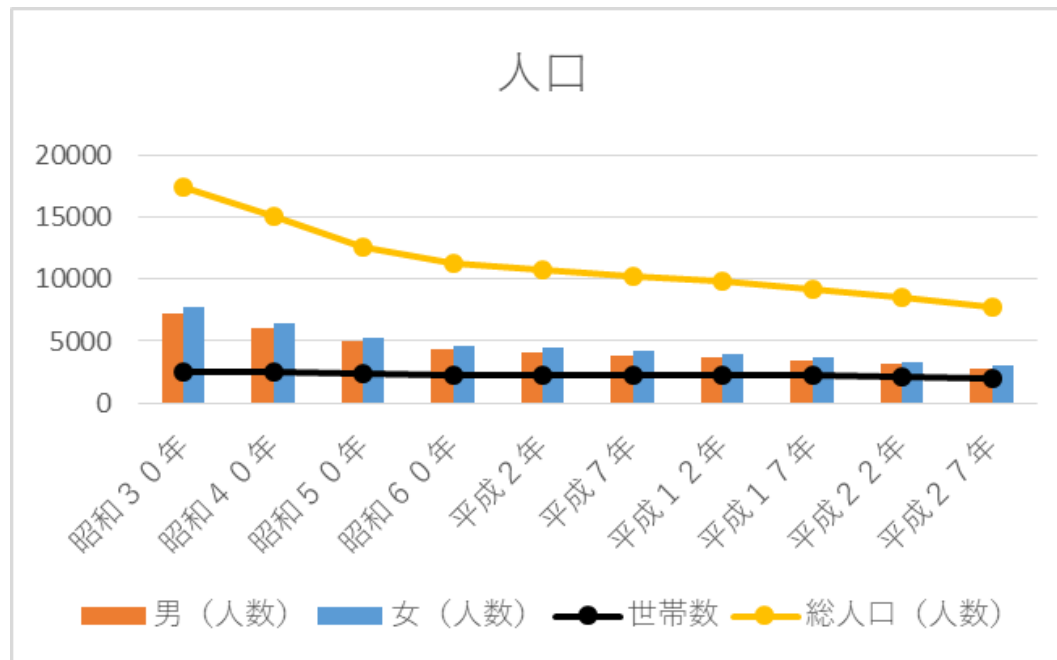


南会津下郷町の概要

【人口】

平成27年 総人口 5786人

(男：2794人 女：2992人 世帯数2003戸)



湯野上温泉駅

湯野上温泉駅は、下郷町の玄関口の一つと呼ばれ、多くの観光客が利用する駅。

湯野上温泉駅付近には多くの温泉があり、駅には気軽に楽しめる足湯などもある。



猿樂台地 そば畑

蕎麦の花が台地一面に広がっている。農林水産省などが主催した「第7回美しい日本のむらコンテスト」の生産部門で農林水産大臣賞に輝いた場所。



そば祭り

10月に開催し、その場で打ったそばが振舞われる。昨年の8月からそばの花見祭りも開催されている。10年前から毎年行われており、リピーターも多い。



道の駅しもごう

地元猿楽台地で生産された良質なそば粉を使用した手打そばや会津地鶏丼などが楽しめる他、木工品や地元特産物等の提供も行っている。



阿久津農園

阿久津農園は、会津地鶏の卵と、里山トマト「桃太郎」その他野菜などを生産出荷し、6次化商品開発を積極的に行っている。

実際にトマトジュースを試飲。



金子牧場

県が主催した県産農林水産物の6次化商品を対象にした「ふくしま おいしい大賞2014」が発表され、菓子・スイーツ部門で「プレーンヨーグルト（小）」が大賞を受賞した。国内ではホルスタインの150万頭に対して1万頭にも満たない飼育数であるジャージー種に力を入れている。生乳は乳成分が高くミネラル成分も多く含み、生産量も少ない大変希少価値の高いミルク。



大内宿

大内宿は、会津城下と下野の国(しもつけのくに)
(栃木県日光市今市) を結ぶ全長130キロメートル
(32里の区間) の中で会津城下から3番目の宿駅
として1640年ごろに整備された宿場町。



漬物工場 香精

6次化事業所。県では、南会津地方の中小企業連携の一環として、新たな受発注機会の拡大や、業務・技術提携などを目的に「福島県南会津ものづくり企業ネット」を立ち上げ、試験研究機関や大学、そして全国的な組織などとも連携していく体制を構築した。その姿勢を積極的に取り入れている。



中山風穴

標高500～600mの所にあり大小さまざまな風穴があって大きく6指定地に分けられている。4月から10月の間が一番冷風体験に相応しく、また季節季節で高山植物も見られる。



塔のへつり

長い年月をかけて自然が作り出したこの渓谷は、塔の形が立ち並ぶ断崖。



天翔窯

空、風、赤松、土...焼きものにいろいろな恵みをくれる南会津下郷。「この豊かな自然に溶け込むような、物をのせて物も引き立つような器を作りたい。」そんなこだわりを持って創作

観音沼公園

沼のところどころに、浮島があり神秘的なムードが漂っている。



現状

- ①一次産業は6次化がしっかり形成され、地産地消がなされており、ブランド化しつつある

- ②人や、自然、文化、歴史など多様な観光資源がある
 - 優しい人、印象の残る人が多い
 - アットホームな旅館の女将さんなど
 - リピーター**が多く存在している
 - 商品販売を電話で行うこととお客さんと直接取引できる

- ③観光のための文化ではなく、そのままの住民の生活文化を活かした観光
 - 生活の一部になっているため、無理せず観光資源を維持することができる。

現状

④住民自身が地域活性化に熱心に取り組んでいる

⑤情報発信が乏しい

→広告紙が白黒用紙であったり、目に留まりにくい場所に貼ってある

→有名な観光地以外の地域の情報発信が少なく、差が大きい

→交通手段が認知されていない

現状

⑥後継者問題

- 「引き継ぐ若者が出てきそうもない。このままやっていて意味があるのだろうか」という住民の声
- 下郷町に残る若者が少なく、後継者不足が問題

⑦インバウンド観光客に対応するには小さな自治体で、急速に進めるのが難しい

EX) 外国語表記、看板、クレジットカードなど

⑧観光客のターゲットが明確でない

課題

- ① 後継者不足...後継ぎがないため、自分の代で終わりにするつもりが生産者が存在
 - これまで時間をかけて確立してきたブランド力がここで途絶えてしまう
 - ＋今後特産品として売り出すことが危うい
 - (EX.そば祭りなどのイベント、農家の農産物)

- ② 交通手段のPR不足
 - 交通機関（シャトルバス等）の詳細が把握されていない

課題

③ 震災の影響で、観光客の減少

→復興してきている現状や街の魅力をもっと
アピールする必要性

④ 情報発信の乏しさ

→SNSが主流のいま、ホームページをはじめ
ツイッターやフェイスブックなどの更新をこまめに
する必要あり
→人々の注目が集まり、集客につながる

課題

⑤ そば祭りの位置付け

→若者が参加していない

→観光資源として確立していない

→集客要素が少ない

→認知度が低い

提案

①後継者不足解消のため見学・体験ツアー（EX.農業）を
組む

→まずは地域の若者に地元の農業に興味を持ってもら
うことが大切

②バスなどの公共交通に力を入れ、地元の人々の暮らし
の足を支えるとともに、観光客の移動手段を確保する

→下郷町の特徴として、観光地点が点在していること
から観光地同士を結ぶ公共交通を充実させる必要が
ある

提案

- ③震災後の観光客減少に関して、復興の現状を積極的に開示し、食も土地も安全であることをアピールする。
→震災から6年が経ち、復興も着々と進んでいるという現状を多くの人に知ってもらう

- ④SNSをフル活用して、下郷町の魅力やイベントの情報発信をしていく
→一人一台スマホを持つ時代なので、積極的にSNSを更新していく必要がある

提案

⑤ そば祭り

→ 小中学校と提携し、生徒に参加してもらう

→ そばだけではなく、地域の6次化商品を出店する

→ 観光地やイベント相互の情報提供や提携

ご清聴ありがとうございました

